

令和元年度全国統一防火標語

「ひとつずつ
いいね！で確認
火の用心」

たかつき消防団だより



消防団に関する詳しい情報は

[高槻市消防団](#)

[検索](#)

第 61 号

令和元年12月15日

発行
高槻市桃園町4番30号
高槻市消防団
電話 674-7980

第63回大阪府消防大会（小型ポンプ操法）

五領分団 分団本部
分団長 堀江 勲

この度小型ポンプ操法出場の大役を担い、始まった本年度の夏は一瞬に通り過ぎました。

選手選抜は昨年暮には終え、選手の勤務状態を聞いていた私の頭の中には「苦労」の2文字が常に重たく渦巻き、本年度がスタートしました。そして迎えた結団式では「悔いの無い訓練」と言う言葉を皆様にお伝えし、日増しに熱くなる中、30数回の訓練をやり終え、タイムこそ最下位でしたが総合で4位、敢闘賞の成績を収める事が出来ました。まさに「悔いの無い訓練」を完遂してくれた瞬間でした。

限られた回数の中で、教官の指導を忠実に、



五領分団 上牧班
班長 土井 和洋

第63回大阪府消防大会の「小型ポンプ操法」競技の出場に向け、五領分団の選手8名の一員として5月15日の結団式以降、約4か月間、大会本番目指して訓練に臨みました。訓練は消防本部にて毎週2回、夕刻に消防本部教官の指導、団本部、五領分団、各分団の皆様のご協力の下で行われました。

各番手の2名の選手は番手に課せられた技量向上を、番手間では規律と調和のとれた操法の完成を目指し、皆で切磋琢磨し訓練を重ねていきました。悪天候、酷暑、選手コンディション不良等で満足な訓練ができない日もありましたが、30数

回、夕刻に消防本部教官の指導、団本部、五領分団、各分団の皆様のご協力の下で行われました。

回の訓練を経て9月1日の大会当日を迎えることとなりました。本番では入賞を逃し、皆さんの期待に応えられませんでした。皆で心を一つにしてここに臨めたことにとても満足しています。



最後に、結団式より選手を支えて下さった消防本部教官、団本部、五領分団をはじめ各分団の皆様ありがとうございました。

令和元年度消防団員教育訓練 「基礎教育」

大冠分団 東天川班
団員 松下 和真

令和元年5月26日、6月16日の両日、大阪府立消防学校にて、令和元年度消防団員教育訓練「基礎教育」を受講させて頂きました。2日間、消防団員の基礎となる知識、技術、心構えを学ばせて頂きました。



ポンプ操法、救急救助などの実践的な訓練は、近年、毎年のように日本を襲う自然災害に対して消防団員としてはもちろん、自分の家族を守るためにも必要な訓練だと感じました。中でも、患者搬送、ロープ結索などは、今まで自己流でやっていた部分が多く、有事の際には消防団員として一秒

でも早く、確実な方法で行うには、日々の訓練が大切だと思いました。また、私は訓練中、指揮者をさせて頂いたこともあり、指揮の難しさも体験することができ大変貴重な経験となりました。指揮に集中するあまり、他の団員の方々に比べ研修内容が疎かになってしまった部分もあると思いますので、日頃の活動、訓練の中でしっかりと復習したいと思っております。

女性消防団員募集活動

団本部
団員 花木 周子

令和元年8月3日、4日と今年も盛大に高槻まつりが開催されました。女性消防団員は1日目の高槻市生涯学習センター多目的ホールでのステージ発表に応募し、参加いたしました。女性消防団員として共に活躍してくれる仲間を募るためです。15分という短い時間でしたが、精一杯のアピールが行えたと思います。先ず、夏冬制服、活動服を着た団員の登場、紹介に始まり、映像にて年間行事や活動の報告の後、最後は大阪府下の女性消防



高槻市地域防災 総合訓練に参加して

如是分団 東五百住班
班長 藤井 治輝

令和元年8月10日、当日は朝から日差しが強く現場に到着すると、既に30度を超えるような暑さでした。消防団は土嚢を積み上げ釜段工を作成することが担当で、当日の1週間前にリハーサルを行いました。

柱本爆発火災

三箇牧分団 分団本部
部長 辻 嘉英

令和元年7月6日20時頃、高槻市柱本4丁目の産業廃棄物収集運搬会社の敷地内で爆発火災が発生、この火災で3名の死者を含め、4名が死傷しました。付近の倉庫等にも爆発による爆風で窓ガラスの破損や外壁もひび割れするなど近くの住宅や学校にも被害が及んでいました。爆発発生時、私は外出しており、広域に及ぶ通行規制の中、よう

令和元年度消防団員教育訓練 「基礎教育」

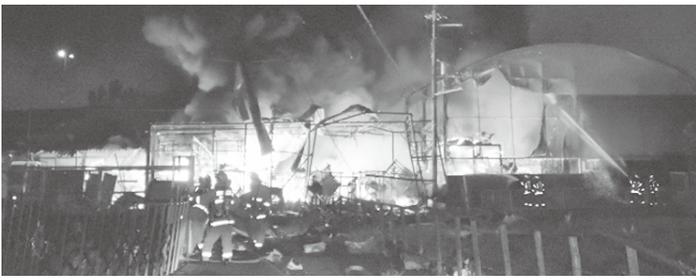
その時は土嚢袋に砂を入れる所から始まり、土嚢の積み上げ等練習しましたが、砂を入れる量や設置する向きが決まっております。2、3回やり直しがありません。当日は限

女性消防団員募集活動

団員で作った「おおさか救命体操」つなぐねん命」の紹介をし、団員募集を呼び掛けて終わりました。後で思うと受付やロビーに団員募集のチラシを置けばよかったです。反省もありましたが、発表での私達の思いが届けばと願うばかりです。今後とも市民に広く女性消防団員の認知、活動紹介を継続して行なっていきたいと思います。

感謝いたします。

今回貴重な機会を頂き感謝いたします。



及ぶ通行規制の中、よう

その時は土嚢袋に砂を入れる所から始まり、土嚢の積み上げ等練習しましたが、砂を入れる量や設置する向きが決まっております。2、3回やり直しがありません。当日は限

その時は土嚢袋に砂を入れる所から始まり、土嚢の積み上げ等練習しましたが、砂を入れる量や設置する向きが決まっております。2、3回やり直しがありません。当日は限

その時は土嚢袋に砂を入れる所から始まり、土嚢の積み上げ等練習しましたが、砂を入れる量や設置する向きが決まっております。2、3回やり直しがありません。当日は限



その時は土嚢袋に砂を入れる所から始まり、土嚢の積み上げ等練習しましたが、砂を入れる量や設置する向きが決まっております。2、3回やり直しがありません。当日は限

表彰

令和元年秋の褒章

・藍綬褒章

西城 茂治(榎田分団)

防災功労賞

・在職30年に達した者

小松 良一(団本部)
吉田 芳(団本部)
平井 浩二(安満班)
木村 憲司(田能班)

・在職20年に達した者

泉 あけみ(団本部)
山中 淑子(団本部)
久野 京子(団本部)
宮西 康成(高槻分団本部)
森本祐記夫(高槻分団)
輕墓 祥行(芥川分団本部)
安井 勝彦(芥川分団本部)
圓實 義隆(萩之庄班)
中川 政一(前島班)
濱田 佳宏(安満班)
福岡 博典(安満班)
小野 大介(成合班)
今道 浩史(清水分団本部)
横山 和浩(西之川原班)
中谷 真浩(萩谷班)
井川 勲(萩谷班)
森田 義久(萩谷班)
久保田茂幸(下田部班)
栗田 貴司(芝生班)
津田 吉彦(津之江班)
田中 伸司(庄所班)

・在職10年に達した者

入江 修(道鶴班)
西村 直喜(道鶴班)
屋敷 卓(神内班)

和久田雅彦(安満班)
増田 克洋(山手班)
上田 哲之(富田班)
岸田 一郎(土室班)
氏原 順一(西之川原班)
奥野 浩(原班)
谷知 秀人(原班)
西田 健(原班)

奥村恭二郎(大蔵司班)
段野 正夫(野田班)
萬 行司(冠班)
松村 弘道(辻子班)
仲谷 智也(芝生班)
阪本 嘉彦(芝生班)
高木 章博(津之江班)
木田 光男(三島江班)
中井 善宣(柱本班)
十時 弘喜(富田分団)
岡島 充(富田分団)
神部 義啓(田能班)

三島地区支部表彰

・支部長表彰
影山 孝幸(芥川分団)
田中 奨之(芥川分団)
田中 薫(道鶴班)
小野 浩史(安満班)
松尾 隆廣(山手班)
笠 光暁(山手班)
宮出 龍介(古賀部班)
土居 剛志(古賀部班)
馬場 俊輔(古賀部班)
梶内 健吾(古賀部班)
山野 勝利(川久保班)
長谷川鳳秀(氷室班)
氷室 芳水(氷室班)
上田 成幸(富田班)
宮本 卓磨(岡本班)
太田 雅澄(西之川原班)
坂元 政仁(宮之川原班)
川上 順平(宮之川原班)
平田 洋一(浦堂班)

田中 靖弘(冠班)
諸橋 匠(冠班)
川畑 慶彦(下田部班)
仲 泰明(大塚町班)
谷山 真也(辻子班)
井上 雅貴(大畑班)
松永 拓也(唐崎班)
木村 憲人(三島江班)
若林 和貴(柱本班)
中川 浩一(富田分団)
願野 祥平(富田分団)

人事異動

昇任者

阿武野分団 班長 岸田 元一
五領分団 班長 森本 誠
三箇牧分団 班長 田淵 晴喜
榎田分団 班長 北島慎太郎
令和元年10月1日付

入団者

高槻分団 福本章一郎
菅田健太郎
芥川分団 川本 柊

退団者

富田分団 西村 隆志
令和元年6月15日付
五領分団 梶原南班 南本 和紀
令和元年6月30日付
五領分団 前島班 吉川 秀人
前島班 吉川 則次
前島班 中川 祐一
前島班 高橋 治郎
令和元年8月31日付
団本部 西井嘉奈子
新留明日香
五領分団 前島班 高橋 義雄
清水分団 原班 南 栄作
令和元年9月30日付
榎田分団 中畑班 畑 博基
令和元年10月31日付



チェンソー取扱訓練 (市町村教育「幹部科」)に参加して

榎田分団 出灰班 班長 伏見 能成

山間部で活動する私たちにあって、筒先より頻りに扱うチェンソーは、近年毎夏の必需品となりました。しかし正確で安全な取扱方法や整備方法については実に無知であったことを今回の訓練で思い知らされました。複数の講師で実技を混じえて指導頂いたので大変わかり易く、分団内でも改めて訓練して貰いたいと思いました。

昨年の台風第21号による被災を通じて、大雨での地盤の緩みのみならず、強風でも多大な倒木が生じることが実体験させられました。倒木が生活道路を機能不全に至らしめ、また電線を引っ張って電柱を倒し停電させることにより大きな支障が生じました。今回教わったことをきっかけに自分でも

消防ポンプ積載車及び消防小型動力ポンプ更新

三箇牧分団 唐崎班 班長 中内 卓次

自治会のお陰で約15年振りに消防ポンプ積載車が納車され、7月14日に自治会の皆様の前で、お披露目式を開催しました。お披露目式は初めての出来事であり、納車を嬉しく思うと共に地域の安全安心を守るため、より一層の訓練や技能向上が必要という原点にも戻れた時間でした。また子ども達から消防団員になったという嬉しい言葉もあり、次世代に引き継ぐこ



の車両を大切に使用しななくてはと感じる1日でもありました。

たかつき消防団だより 編集委員

- 委員長 榎田 渡邊 美広
- 副委員長 富田 住田 昇治
- 委員 高槻 笠矢 智久
- 芥川 白井 秀典
- 五領 森本 昌宏
- 磐手 藤松 元治
- 阿武野 吉田 博道
- 清水 氏原 健司
- 大冠 井上 忠宏
- 如是 北島 弘之
- 三箇牧 二神 義治
- 団本部 大田 敦子
- オブザーバー 団本部 石田 義光

日々の生活行事

- 12月10日(火)～31日(火) 歳末特別警戒
- 1月12日(日) 令和二年高槻市消防出初式
- 1月19日(日) 令和元年度消防団員教育訓練「幹部科 分団指揮課程」
- 3月1日(日)～7日(土) 春季全国火災予防運動
- 3月下旬 大阪府消防表彰式